

アイデア住宅に いらっしゃい!

文●小野寺雅浩
写真●飯貝拓司
間取り図●坂井きよみ



Yさん宅

大阪府泉佐野市（J.A.大阪泉州管内）

築百三十年の住まいは、とにかく暗くて
今のライフスタイルにも合わない……。そんな悩みを
リフォームで一掃。黒い梁と白い壁のコントラストが美しい
和洋折衷の住まいに生まれ変わりました。

モダン和風の家



外観は、古い屋根を取り壊し、瓦をふき替えたものの、古民家らしい重厚なたたずまいを残している

老朽化がひどく 建て替えるつもりが……

天窓や庭に面した大きな窓から、明るい日差しが入るYさん宅。この家を先祖代々住み継いできましたが、改装前は日中でも照明が必要なほど暗く、風通しの悪さにも悩まされていた。

「この家の嫁いで五十年たちますが、風呂は二回移動したし、土間だった炊事場もフローリングに替えました。さらに応接間やトイレなど、ちょこちょこ手を入れてきましたね」と話すYさん。

頻繁に改修を重ねたが、年々老朽化は進み、Yさんは、これ以上手を加えるよりも、「いっそ建て替えよう」と考えていました。ところが、同じ敷地内の隣に住む



Before

以前の住まいは、度重なる改修により、天井や壁のほとんどが合板で覆われ、日本家屋本来のよさが失われていた



リノベーション時に天井を取り払って天窓を設置。室内全体が明るくなったり



リビングは、壁、床、ソファーまでも白で統一し、モダンな空間を生み出している



南側の玄関だった場所にリビングを移動して、明るさを確保

Yさんは、息子から専門誌やインター
ネットで収集した情報を見せてもらい、
じっくり相談したすえ、古民家再生に関
して二十年以上のキャリアをもつ建築
家・平井恵一さんに依頼した。この時点
で、リフォームを決めてから、すでに二
年がたとうとしていた。

実際のリフォームのさいには、建築家の
提案で、将来も安心して住めるよう基



玄関へ続くアプローチは、建物の
外観に合わせ、純和風に



採光や風通しをよくするため、建
物を一部壊し、中庭を設けた

て、さらに、天井を撤
去して、あえて梁や
柱を見せて、古民家ならではの美
しさも強調している。

「最初は不安だった
リフォームだが、そのできばえに、Yさ
んはおおいに満足している。以前は朝起
きると、まず電気をつけていたほど薄暗
かつたが、今は朝日とともに、気分よく
目覚めるという。

「それに、ダイニングがきれいになつて
からは、日曜の夜、息子家族とここでい
つしょに食事をすることにしたんです。
食後はソファーで孫とくつろげるし、と
つても楽しいですよ」



広々とした玄間には、先祖代々伝
わる絵皿をディスプレー

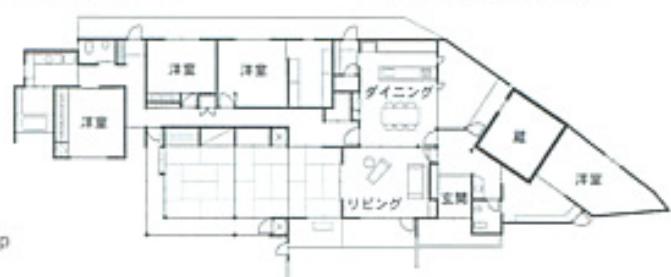


カウンターキッチンの下は、ダイ
ニング側から使える収納庫に

DATA

●敷地面積	1090m ²
●延べ床面積	235m ²
●竣工年月	2006年11月
●設計	平井恵一建築事務所
●施工	株日の出組

平井恵一建築事務所
大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビルITM棟10-D-1-60
☎06-6614-5522 FAX 06-6614-5533
古民家再生ネットワーク <http://www.kominika.ne.jp>



家事の合間に、中庭を眺めながら
よくひと息ついています。
リラックスできるんですね